

修士課程

臨床心理学専攻 <一般選抜>

臨床心理学専攻は
秋季(9月)入試と春季(2月)入試を
実施します。

臨床
心理学

一般
選抜

修士課程

臨床心理学専攻 <一般選抜>入試

1. 募集する課程、専攻および入学定員概要

課程	専攻名	入学定員
修士課程	臨床心理学専攻	15名

入学定員は、秋季及び春季をあわせたものです。

2. 出願資格

- (1) 大学を卒業した者および2016年3月末までに大学卒業見込みの者
 - (2) 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者および2016年3月末までに学士の学位を授与される見込みの者
 - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2016年3月末までに修了見込みの者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2016年3月末までに修了見込みの者
 - (5) 文部科学大臣の指定した者
※専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了する場合は2016年3月末までに修了見込みも含む。
 - (6) 大学に3年以上在学した者、又は外国において学校教育における15年の課程を修了した者で、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
 - (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者
 - (8) その他本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- ※注意 (7)の資格で受験を希望する者は、出願期間締切日の2ヶ月前までに大学院事務部長大学院課多摩担当(人間社会研究科)にて受験資格を確認すること。個別の入学資格審査の方法は39頁を参照のこと。

3. 選抜方法

専攻	入学試験方式	選抜方法
臨床心理学専攻	一般選抜	第1次審査 筆記試験(専門基礎・専門論述・英語) ※筆記試験の「英語」は英和辞典(1冊のみ)持込参照可(電子辞書は持込不可) 第2次審査 口述試験(面接)

筆記試験の出題範囲および形式

専攻	試験科目	出題範囲および形式
臨床心理学専攻	専門基礎	●臨床心理学全般にわたる基礎的知識や概念を問う問題(精神医学、基礎的な統計を含む)
	専門論述	●臨床心理学の専門的な内容に関する記述問題
	英語	●臨床心理学に関する基礎的な文献の読解

4. 出願手続

(1) 入学検定料

35,000円（様式1の「振込依頼書・入学志願票」使用のこと）

(2) 提出書類

※提出書類は黒ボールペン（消せるボールペンは不可）で楷書にて記入してください。

	提出書類	様式
a	入学志願票（C, D票） C, D票のみ提出。B票は各自保管のこと。（銀行印の押印を確認すること）	様式1
b	卒業（見込）証明書 1通（※注意①） 最終出身校の卒業（見込）証明書	
c	成績証明書 1通（※注意①） 最終出身校の成績証明書 ※編入学・学士入学している者は、編・学士入学前の在籍校の成績証明書・在籍期間証明書も併せて各1通提出すること。	
d	入学試験面接カード 所定の用紙に必要な事項をみれなく記入すること。 ※「指導を希望する専任教員名」は、あくまで希望として記入するもので、合格、入学後の指導教員を決定するものではありません。正式な指導教員は入学後にあらためて希望を提出し、研究科教授会にて検討のうえ最終的に決定となります。	様式2
e	研究計画書 2,000字程度。ワープロ使用により別紙に印刷する場合は様式3-2を表紙として提出すること。（同様の書式を作成し提出することも可能）	様式3-2
f	履歴書 必要事項をみれなく記入すること。必ず捺印のこと。	様式4
g	卒業論文の概要書（※注意②） 2,000字程度。ワープロ使用により別紙に印刷する場合は、様式5-3を表紙として提出すること。（同様の書式を作成し提出することも可能） なお、大学卒業時に卒業論文を提出しなかった者は、それに代わるもの（大学において研究・学習した内容等）を記述して提出すること。	様式5-3
h	住民票 または 在留資格・期間を証明するもの 1通（外国人のみ） ・発行後3ヶ月以内のものを提出すること。 ・出願時に外国人登録をしていない者は、パスポートのコピーなど、在留資格・期間が分かるものを提出すること。 ※2012年7月9日より導入された新しい在留管理制度に基づき、市区役所・町村役場にて住民票の発行を受けて提出してください。 ※必ず「在留資格・期間」が明記されているものを提出してください。	

※注意①婚姻等により証明書（b, c）と異なる姓名になった者は、必ずこれを証明する書類（戸籍抄本）を提出してください。

②修士課程修了者については、「卒業論文の概要書」（g）に代えて「修士論文の概要書」を提出することを可とします。

③一旦提出した書類等は試験結果の可否に関わらず返還しません。

(3) 出願方法

①出願期間内に、検定料を銀行振込により納入すること。

②提出書類を所定の封筒により、出願期間内に大学院事務部大学院課多摩担当（人間社会研究科）まで郵送（書留速達）すること。

③出願は郵送のみとする。

(4) 出願先

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

法政大学 大学院事務部大学院課多摩担当（人間社会研究科）

5. 入試日程

(1) 秋季入試

① 出願期間

2015年9月3日(木)～9月10日(木) (9月10日消印有効)

※受験票は試験日の1週間前頃に発送します。

② 試験日程

	10:00～10:45	11:15～12:15	12:15～13:00	13:00～14:00
9月27日(日) <第1次審査>	専門基礎 (参照不可)	専門論述 (参照不可)	昼休	英語 ※英和辞典(1冊のみ) 持込参照可(電子辞書は 持込参照不可)
9月30日(水) <第2次審査>	10:00～13:30 口述試験			

※注意 a. 第1次審査合格者に対して、第2次審査を実施します。

b. 受験者は試験開始20分前までに必ず試験教室に入室してください。

c. 試験時間中の途中退出はできません。

③ 合格発表

a. 第1次審査合格発表

2015年9月29日(火) 10:00

法政大学 多摩キャンパス 現代福祉学部棟(17号館) 1階エレベーターホール掲示板

法政大学大学院ホームページ (<http://www.gouhi.com/hosei/gs/>)

b. 最終合格発表

2015年10月9日(金) 10:00

法政大学 多摩キャンパス現代福祉学部棟(17号館) 1階エレベーターホール掲示板

法政大学大学院ホームページ (<http://www.gouhi.com/hosei/gs/>)

(合格者には、合格者通知書および入学手続書類を速達で郵送します。)

④ 入学手続期間

2015年12月1日(火)～12月8日(火)

(手続き方法の詳細については合格発表時に通知しますが、所定の学費等を納め、指定された書類を簡易書留で郵送してください。)

(2) 春季入試

① 出願期間

2016年1月21日(木)～1月28日(木) (1月28日消印有効)

※受験票は試験日の1週間前頃に発送します。

② 試験日程

	10:00～10:45	11:15～12:15	12:15～13:00	13:00～14:00
2月20日(土) <第1次審査>	専門基礎 (参照不可)	専門論述 (参照不可)	昼休	英語 ※英和辞典(1冊のみ) 持込参照可(電子辞書は 持込参照不可)
2月24日(水) <第2次審査>	10:00～13:30 口述試験			

※注意 a. 第1次審査合格者に対して、第2次審査を実施します。

b. 受験者は試験開始20分前までに必ず試験教室に入室してください。

c. 試験時間中の途中退出はできません。

③合格発表

a. 第1次審査合格発表

2016年2月23日（火） 10:00

法政大学 多摩キャンパス 現代福祉学部棟（17号館）1階エレベーターホール掲示板
法政大学大学院ホームページ (<http://www.gouhi.com/hosei/gs/>)

b. 最終合格発表

2016年2月29日（月） 10:00

法政大学 多摩キャンパス 現代福祉学部棟（17号館）1階エレベーターホール掲示板
法政大学大学院ホームページ (<http://www.gouhi.com/hosei/gs/>)

（合格者には、合格者通知書および入学手続書類を速達で郵送します。）

④入学手続期間

2016年3月1日（火）～3月8日（火）

（手続き方法の詳細については合格発表時に通知しますが、所定の学費等を納め、指定された書類を簡易書留で郵送してください。）

6. 試験会場

法政大学 多摩キャンパス 現代福祉学部棟（17号館）および総合棟（1号館）

（試験教室は受験票郵送時にお知らせします。）

7. 入学手続

(1) 入学手続に必要な書類

- a. 学費納入済票
- b. 住民票（発行後3ヶ月以内のもの） 1通
- c. 写真（3ヶ月以内に撮影したもの 3cm×3cm） 2枚
- d. 卒業証明書（卒業見込みで受験した者のみ） 1通
- e. 成績証明書（卒業見込みで受験した者のみ） 1通

※注意 外国人の方も2012年7月9日より導入された新しい在留管理制度に基づき、市区役所・町村役場にて「住民票」の発行を受けて提出してください。また、その際、必ず「在留資格・期間」が明記されているものを提出してください。

(2) 学費

入 学 金	140,000 円 (但し本学の学部卒業者は無料)
授 業 料	530,000 円
教育充実費	60,000 円
実験実習費	50,000 円
合 計	780,000 円 (但し本学の学部卒業者は 640,000 円)

※注意 ただし、入学手続時の納入金は入学金全額と授業料・教育充実費・実験実習費のそれぞれ半額の合計額（460,000円）で、残りの授業料・教育充実費・実験実習費のそれぞれ半額の合計額（320,000円）は秋期に納入することになります。

上記の他、入学手続時に諸会費約3,000円が必要になります。

（2年次は上記のうち入学金以外の学費・諸会費が必要になります。）

8. 注意事項

- (1) 一旦受領した検定料は返還いたしません。
- (2) 提出書類に不備があると、受験できなくなることがありますので、十分注意してください。
- (3) 受験者が遅刻した場合は、試験開始20分以後の受験はいかなる理由があっても認めません。
- (4) 受験会場では携帯電話等の時計としての使用は一切認めません。入室の際には、必ず電源を切ってください。
- (5) 受験当日は、付近の食堂が閉まっていることがあります。なるべく各自で昼食を用意してください。
- (6) 電話での合否の問い合わせには一切応じません。
- (7) 本学への入学手続を完了した後に（入学時納入金を全額納入した後に）、やむを得ない理由により入学の辞退を希望し、2016年3月31日（木）までに大学が定める手続きにより届け出をした者には、入学金を除く学費その他の納入金を返還します。入学手続等詳細は合格者に交付される「入学手続書類」を参照してください。